

JOCS 祈りの花束カレンダー

2026年2月

今月のみことば：ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。苦労はその日その日に十分あります。（マタイ6:34）

日	月	火	水	木	金	土
1 戦争・紛争の中で保健医療活動に従事する人々のため	2 第二期シロアムプロジェクト（協働プロジェクトのため（ケニア）	3 冬期募金のため	4 ミラノ外国宣教会とそのJOYJOYプロジェクトのため（バングラデシュ・岩本直美ワーカー派遣先）	5 新しいワーカーが与えられるように	6 世界で虐げられている女性のため。ジェンダーに基づく暴力の根絶のため（本日、女性器切除（FGM）根絶の日*1）	7 JOCSに協力するボランティアの方々のため（本日、ボランティアグループオンラインミーティング開催）
8 会長・常務理事・事務局長のため	9 KINDプロジェクト（協働プロジェクト）のため（ミャンマー）	10 タボラ大司教区保健事務所のため（協働プロジェクトパートナー・奨学生所属先・城田ふみワーカー派遣先）	11 信教の自由が、どこにおいても守られるように。信仰の多様性を認め合うことができるように（本日、信教の自由を守る日*2）	12 城田ふみワーカーのため（タンザニア）	13 JOCSの奨学生のため。（特に、ネパールの奨学生のため。現在16名）	14 JOCSの広報活動のため
15 JOCSをご支援くださる教会の働きのため	16 カリブムトプロジェクト（協働プロジェクト）のため（タンザニア）	17 使用済み切手収集活動のため	18 生活をシンプルにすることによって苦悩する人々と共に歩めますように（灰の水曜日。本日からレント・四旬節）	19 岩本直美ワーカーのため（バングラデシュから帰国・活動報告会開催中）	20 奨学金事業のカウンターパートのため	21 すべての人の母語とその文化が尊重されるように（本日、国際母語の日*3）
22 地区JOCS働きのため（本日、四国高知JOCSのつどい）	23 HOPEプロジェクト（協働プロジェクト）のため（ウガンダ）	24 JOCSの会員のため。（特に京都府の会員のため。現在104名）	25 国際保健医療勉強会のため。講師の森田隆事務局長のため（本日、オンラインで開催）	26 JOCSの財務のため（本日、財務委員会開催）	27 会員・支援者の増強のため	28 事務局スタッフのため

*1 : International Day of Zero Tolerance for FGM （2003年2月6日、当時のナイジェリア大統領夫人だった、ステラ・オバサンジョによって提唱され、2012年12月の国連総会で「女性器切除（FGM）の事実を広め、行動を起こしていくための日」として定められた。）

*2 : 日本キリスト教団・バプテスト連盟などの諸教会で制定された日。

*3 : International Mother Language Day （ユネスコが制定した国際デー。1952年、当時パキスタンの一部であったバングラデシュで起きたベンガル語公用語化運動に由来する。



みことばの黙想 2026年2月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。より深くみことばを味わいたい方は、出典箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日（日） 1ヨハネ 5:1-4
神を愛するとは、神の掟を守ることです。神の掟は難しいものではありません。

2日（月） ルカ 2:22-32
†主の奉獻
シメオンは幼子イエスを腕に抱き、神をたたえて言った。「わたしはこの目であなたの救いを見ました。これはすべての人のために整えてくださった救い。すべての人を照らし啓示の光。」

3日（火） サムエル上 3:1-18
エリは少年サムエルに言った。「もしまた呼びかけられたら、こう言いなさい。『主よ、お話しください。僕（しもべ）は聞いております。』」

4日（水） マルコ 1:29-39
朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて、人里離れた所へ出て行き、そこで祈っておられた。弟子たちはイエスを見つけると、イエスは弟子たちに言われた。「近くのほかの町や村へ行こう。そこでも、わたしは宣教する。」

5日（木） サムエル上 22:21-31
主よ、あなたはわたしのともし火、主はわたしの闇を照らしてください。あなたによって、わたしは城壁を越える。

6日（金） 詩編 34
主を仰ぎ見る人は光と輝き、辱（はずかし）めに顔を伏せることはない。

7日（土） フィリピ 2:12-16
あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神です。

8日（日） 1テモテ 2:1-8
神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。この方は、すべての人のために御自身を献（ささ）げられました。

9日（月） ヨハネ 3:22-36
御父は御子を愛して、その手にすべてをゆだねられた。御子を信じる人は永遠の命を得る。

10日（火） イザヤ 26:19
イザヤは言った。「あなたの死者が命を得、立ち上がりますように。塵（ちり）の中に住む者よ、目を覚ませ、喜び歌え。」

11日（水） マルコ 1:40-45
重い皮膚病を患っている人が、イエスのところに来てひざまずいて願い、言った。「御心ならば、わたしを清くすることがおできになります。」イエスが深く憐れんで、手を差し伸べてその人に触れ、言われた。「よろしい。清くなれ。」

12日（木） 1テサロニケ 4:13-18
パウロは記す。「イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してくださいませ。」

13日（金） フィリピ 1:20-26
パウロは記す。「これまでのように今も、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストが公然とあがめられるようにと切に願い、希望しています。わたしにとって、生きるとはキリストであります。」

14日（土） マタイ 6:7-15
イエスは言われた。「ある者は祈る時に言葉数が多ければ、聞き入れられると思いついでいる。彼らのまねをしてはならない。あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ。」

15日（日） マタイ 5:1-12
イエスは言われた。「心の清い人々は、幸い。その人たちは神を見る。」

16日（月） 使徒言行録 13:22-26
洗礼者ヨハネは、イエスがおいでになる前に、民全体に悔い改めの洗礼を宣べ伝えました。

17日（火） マルコ 1:35-39
イエスは弟子たちに言われた。「近くのほかの町や村へ行こう。そこでも、わたしは宣教する。」

18日（水） マルコ 1:12-15
†灰の水曜日
イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝えて、言われた。「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」

19日（木） 申命記 32:1-4
モーセは言った。「主は岩、その御業（みわざ）は完全で、その道は正義。」

20日（金） マルコ 4:1-9,13-20
イエスはたとえて言われた。「良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて受け入れる人たちであり、ある者は三十倍、ある者は六十倍、ある者は百倍の実を結ぶ。」

21日（土） 詩編 56
あなたは死からわたしの魂を救い、命の光の中に、神の御前を歩かせてくださいます。

22日（日） エフェソ 3:1-12
パウロは記す。「神は、その力を働かせてわたしに恵みを賜り、この福音に仕える者としてくださいました。わたしは、この恵みにより、キリストの計り知れない富についてすべての人に福音を告げ知らせています。」

23日（月） 2コリント 1:18-22
パウロは記す。「イエス・キリストは、『然り（しかり）』と同時に『否』となったような方ではありません。この方においては『然り』だけが実現したのです。」

24日（火） コロサイ 3:12-22
キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。

25日（水） マルコ 9:2-10
イエスは、弟子たちの前で姿を変えられた。すると、雲が彼らを覆い、雲の中から声がした。「これはわたしの愛する子。これに聞け。」

26日（木） ルカ 1:67-79
ザカリアはこう預言した。「ほめたたえよ、イスラエルの神である主を。主はその民を訪れて解放し、我らのために救いの角を、僕（しもべ）ダビデの家から起こされた。昔から聖なる預言者たちの口を通して語られたとおりに。」

27日（金） 1ヨハネ 5:18-21
わたしたちは真実な方の内に、その御子イエス・キリストの内にいるのです。この方こそ、真実の神、永遠の命です。

28日（土） 詩編 139
神よ、わたしを究め、わたしの心を知ってください。わたしを試し、悩みを知ってください。わたしを、とこしえの道に導いてください。